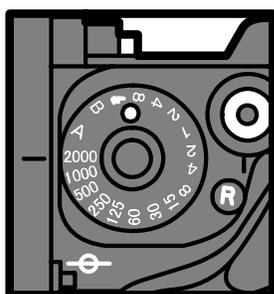
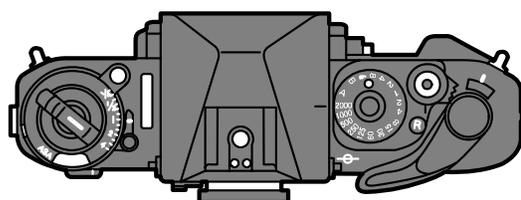
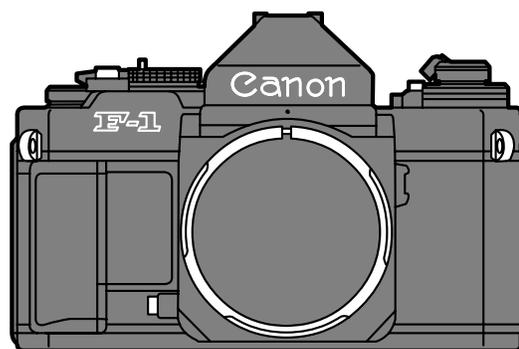


Canon newF-1

スペック	
シャッター	1/2000～8秒・B・T・X（電子／機械ハイブリッド式シャッター）
X接点	1/90秒
測光方式	中央部重点平均測光／スポット測光／部分測光（交換ファインダースクリーンにより異なる）
撮影モード	基本的にマニュアル（交換ファインダーによりA E可能）
サイズ	146.7×96.6×48.3mm
重量	805g
発売年	1981年
新品価格	- 絶版 -
中古相場	80,000～100,000前後
備考	ファインダー及びファインダースクリーン交換可。 分割巻き上げ可。 モータードライブ、ワインダー装着可。 ファインダー視野率97% ファインダー倍率0.8倍



まず最初に気になる点は、巻き上げレバーのゴリゴリ感である。ニコンF3の滑らかな動作に慣れていると、巻き上げるたびに気になってしまう。だがそれが逆に、ちょっとやさっとでは壊れそうにないという印象へと昇華することもある。これこそ、手巻きの醍醐味かも知れない。F3の精度の良さを体感するか、それともキヤノンNew F1の頑丈さを体感するか。それは諸君の好みが決めることだ。

交換するファインダーの種類によって、絞り優先A Eが使えるたり使えなくなったりするが、このカメラは基本的にはマニュアルカメラなので、A Eはおまけと考えたい。New F1のダイヤルをAマークに固定するような勿体ないことはやめ、自分の指で感触を確かめながらダイヤルを回すべきだ。モードを切り替えるとメーターの表示位置が変わるのだが、モードを切り替える時に撮影者の気分も切り替わる効果があるという。しかし我々は、そのメカニズムの動きを想像することを楽しもうではないか。